

【樹木・草花の部屋】

ナデシコ (ナデシコ科ナデシコ属 *Dianthus superbus* L. var. *longicalycinus*)

和名 (漢字) ; 撫子 別名 ; 英名 ; balloon flower

ナデシコ目 多年性草本植物

原産地 ; ヨーロッパ、北アメリカ、アジア、南アフリカ

花言葉 ; 純愛・無邪気・純粋な愛・いつも愛して・思慕・貞節・お見舞・女性の美・

花の色 ; 赤,ピンク,白,黄,複色,黒



⇒ 写真-1 ナデシコ

撮影日 : 2011年5月16日

撮影場所 : 奈良県広陵町

S邸にて

撮影者 : Sさん

写真-2 ナデシコの花 ⇒

撮影日 : 2012年5月8日

撮影場所 : 奈良県広陵町

S邸にて

撮影者 : Sさん



ナデシコ属の仲間である秋の七草のナデシコはふつうカワラナデシコをさします。

このほかにも、ヨーロッパ原産のタツタナデシコやヒメナデシコ、中国原産のセキチク (石竹)、北米原産のヒゲナデシコなどが古くから観賞用に栽培されてきました。(※詳しくはくちよつと一言>参照のこと)

【樹木・草花の部屋】

<ちょっと一言>

ナデシコ属 (*Dianthus*) はナデシコ科 (*Caryophyllaceae*) に属し、北半球の温帯域を中心に約 300 種が分布する。このうち、ヒメハマナデシコとシナノナデシコは日本固有種（日本にのみ自生）であり、他に日本にはカワラナデシコとハマナデシコが分布する。

- ・カワラナデシコ (*D. superbus* L. var. *longicalycinus* (Maxim.) Williams)
カワラナデシコには、ナデシコ、ヤマトナデシコの異名もある。これはセキチク (*D. chinensis* L.) を古くは唐撫子（カラナデシコ）といったことに対する。ナデシコは古くは常夏（とこなつ）ともいった。これは花期が夏から秋に渡ることにちなむ。
- ・エゾカワラナデシコ (*D. superbus* L. var. *superbus*)
カワラナデシコの基変種で、本州中部以北の日本を含むユーラシアの中北部に分布する。
- ・タカネナデシコ (*D. superbus* L. var. *speciosus* Reichb.)
高山に分布し、本州中部以北と北海道の高山帯及びヨーロッパ、中国（東北）及び朝鮮に分布する。
- ・ヒメハマナデシコ (*D. kiusianus* Makino)
九州、沖縄及び本州と四国の一部に分布する。
- ・ハマナデシコ (*D. japonicus* Thunb.)
本州以西の日本と中国に分布する。別名フジナデシコ[2]。
- ・シナノナデシコ (*D. shinanensis* (Yatabe) Makino)
本州中部に分布する。別名ミヤマナデシコ

ナデシコ属の園芸品種をダイアンサスということがあります。カーネーション (*D. caryophyllus* L.) もナデシコ属ですが、日本ではカーネーションを除いてダイアンサスと呼んでいます。

ナデシコは秋の七草のひとつです。

[ハギ](#)、[オバナ（ススキ）](#)、[キキョウ](#)、[ナデシコ](#)、[オミナエシ](#)、[フジバカマ](#)、[クズ](#)
覚え方は「ハスキーなお袋」だそうです。